地域体験型ライフデザインセミナープログラムの実証導入（株式会社雨風太陽）

都市部の大学生・新社会人を対象に、対面ワークと地域体験を通じて「自分らしい暮らし・働き方」を考える体験型ライフデザインプログラムを実施。地方か都市かの二択にとらわれず、参加者自身が地方に対して抱いていた捉え方や無意識のバイアスに気づき、将来のキャリアや生き方を新たな視点で捉え直す機会を提供した。

実施目的

対面ワークと地域でのリアルな体験を通じて、大学生・新社会人が自らのライフデザインを主体的に考える力を育むとともに、「移住ありき」ではない柔軟な地域との関わり方を提示する。

実施内容・スケジュール

本プログラムは、都市部在住の大学生・新社会人を対象とした、対面ワークと地域体験を組み合わせた全3フェーズの体験型ライフデザイン事業。

事前ワークと岩手県盛岡市周辺での1泊2日の地域体験、体験後の振り返りを通じて、価値観や将来像を言語化し、自分らしい働き方・暮らし方を考える機会を提供した。

	11月	12月	1月
上旬	・プログラムの企画立案、内容＆日程確定	**・フェーズ①：ライフデザインセミナー実施**	・効果検証レポートの取りまとめ、提出
中旬	・周知＆募集 ・宿泊・交通等の事務手配	**・フェーズ②：岩手県内での地域体験プログラム実施（1泊2日）**	・次年度展開に向けた改善点の洗い出し、共有
下旬		**・フェーズ③：振り返り＆アクション設計**	

▽事前ワークショップ



▽地域体験（酒蔵見学）



▽地域体験（講師講演）



実施体制・実証フィールド

- 株式会社雨風太陽：全体企画/運営
- 株式会社IBJ：事前の価値観整理ショップ企画/実施
- 岩手県保健福祉部子ども子育て支援室：岩手県内プログラム実施協力

効果検証結果

本プログラムにより、参加者は地方に対する無意識のバイアスに気づき、実体験を通じて価値観や将来像を再整理することができた。

その結果、将来の暮らし方・働き方（居住地や働く場所の選択）に関する意思決定の解像度が高まり、「地方選択・都市選択・継続検討」という3つの志向に分かれつつも、いずれも納得感のある選択へと意思決定が深化した点が大きな成果である。

ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆

本実証事業で行ったように、移住を促すこと自体を目的とせず、価値観整理とリアルな体験を段階的に組み合わせることで、若者の主体的な意思形成を支援できることが示された。

本手法は、地方・都市の二項対立を超えた柔軟なキャリア観・ライフ観の醸成につながり、今後の大学生・新社会人向けライフデザイン支援の汎用モデルとして高い展開可能性を有している。